



世界と、仲間と、つながる

小平市立花小金井南中学校 3年 甲斐 嗣弓

JICAの仕事は、人と人をつなぐことだと思う。日本語を学びたいモンゴルの子供たちと、それを教える先生。最新の治療を受けたい患者と、技術を持った医者。彼らをつなぎ、一緒に問題の解決にあたる。私も今回の研修を通して、世界に目を向ける広い視野を持った仲間たちとつながることができた。

私は、国際協力に携わる仕事に就きたいという漠然とした夢がある。でも、そのために何をすればよいのか分からなかった。しかし、一緒に研修に行った仲間たちの話を聞いて衝撃を受けた。皆、途上国のために何ができるかを考え、自ら様々なボランティア活動を行っている。考えるだけでなく、一歩踏み出して世界に貢献しようとしている。その積極的な姿勢に大きな刺激を受けた。

私は今回の研修で、モンゴルの方々が日本に感謝の気持ちを持っていることを肌で感じ、誰もが「From the People of Japan」の一員だということを実感した。この言葉は、日本から贈られた製品に書かれていた言葉である。国際協力と聞くと関わりのない話だと思いがちだが、他国の言語や文化を学ぶこと、日本の税金を払うこと、世界のために「何かしたい」という気持ちを持つこと、これらは既に国際協力の一歩である。同じ志を持つ仲間ともう一歩踏み出し、モンゴル研修を通して学んだことを、周りに発信していきたい。いつかはモンゴルで見た青年海外協力隊の方々のように、自分の得意なことを活かして活躍できる人になりたい。